

各位

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
代表者 代表取締役社長 佐々木 輝男
(コード番号 6848)
問合せ先責任者 専務取締役 玉井 亨
(TEL 03-3202-0211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,600	1,400	1,450	900	45.38
今回修正予想(B)	13,750	1,110	1,140	685	34.54
増減額(B-A)	△850	△290	△310	△215	
増減率(%)	△5.8	△20.7	△21.4	△23.9	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	13,672	1,384	1,429	878	44.30

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,600	1,400	850	42.86
今回修正予想(B)	12,750	1,150	790	39.83
増減額(B-A)	△850	△250	△60	
増減率(%)	△6.3	△17.9	△7.1	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	12,618	1,432	965	48.66

修正の理由

主たる事業である計測機器事業は、緩やかな景気回復への期待感もあり、受注高、売上高共に今後も堅調に推移するものと予測しておりますが、利益面では円安による輸入コストの増大等もあり計画どおり伸長しない見通しとなりました。また、当社の売上高と利益の両面で永年大きく業績に貢献してきた不動産賃貸事業において、去る平成25年5月末付で一棟貸の賃貸ビル(TDビル)解約の申し出があり、その後の空室期間が長期化したことから、当期の同事業の大幅な減収・減益が避けられない見通しとなりました。

この結果、全体としては平成25年5月9日に公表した連結通期業績予想の達成は困難であると判断し、これを修正することといたしました。

なお、当社では、営業利益の具体的な減少要因を概ね次のような理由によるものと考えております。

- (1) 不動産賃貸事業の売上高減少に伴う減益
- (2) 円安による輸入HACH 製品のコストアップ
- (3) プラントメーカー向け大型売上案件高原価
- (4) 生産合理化とコスト低減のための IT 投資

この他、賃貸ビルの改修・維持管理費用など一時経費の増加も利益圧迫の要因となりました。

一方、当期末配当予想につきましては、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されたことを記念して1株当たり1円の記念配当を実施し、普通配当10円に1円増配の1株当たり11円にすることといたしました。本件につきましては、平成26年6月に開催予定の第70回定時株主総会に付議する予定であります。

詳しくは本日別途開示いたしました「配当予想の修正(東証第一部銘柄指定記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

以上